

2020年8月12日

佐世保市長 朝長 則男様

石木ダム建設に反対するみんなの会

呼び掛け人 中島康, 茂吉隆典, 山本伸裕, 土森武友

連絡先 869-0222 熊本県玉名市岱明町野口 927 土森方

TEL:080-3999-9928 FAX:020-4668-3744

石木ダムの利水事業断念を求める申し入れ書

私たちは、無駄な石木ダム建設事業を中止させる目的で、ダム反対のうねりを全国に広めるために設立された市民団体です。石木ダム問題は、もはや長崎県だけの問題ではありません。石木ダム事業は補助ダムであり、国からの補助金が支出されること。またダムができればダムで沈むとされる、川棚町川原地区という地域コミュニティと石木川流域の豊かな自然環境を不可逆的に破壊するという。事業の必要性や合意形成プロセスに問題があること。適正な公共事業のあり方や人権問題として大いに疑問があること。石木川の自然や川原住民の暮らしの価値は、この地域だけでなく、普遍的な人類の財産であることなどに鑑みれば、この問題は日本に住む人間一人一人にとって大きな問題です。

石木ダムの目的は失われています。目的の一つである川棚川の洪水防止については、河床掘削などの河川改修をすれば、過去最大の洪水も溢れずに流せます。もう一つの目的である佐世保市への水道水の供給も、水需要は減少しており、新たにダムの水を引く必要はありません。佐世保市の喫緊の課題は漏水対策であって、ダムからの水の供給ではありません。

このような無駄なダム建設に長崎県は総事業費 538 億円（建設事業の総事業費 285 億円＋関連事業費（取水、導水、浄水等施設設備費）253 億円）もの費用を投入し、自然を破壊し、水没予定地住民の生活を奪い、私たちに負の遺産を押し付けようとしています。また、佐世保市の負担は 353 億円（石木ダム建設負担金約 100 億円＋関連事業費 253 億円）と言われています。佐世保市民一人当たり 10 万円以上の負担となります。これらは、水道料金の値上げ等で佐世保市民の負担になると思います。佐世保市民は、石木川流域の自然環境破壊と川原住民への人権侵害、新たな費用負担をしてまでダムの水を望んでいません（*）。

つきましては、貴職におかれましては、石木ダムの利水事業を断念されることを強く求めるとともに、漏水問題など市民が望む喫緊の課題の解決に取り組まれることを強く求めるものです。

以上

*市民団体「＃ダムより花を」が今年2月、佐世保市四ヶ町アーケードで通行中の佐世保市民205名を対象に行なったアンケート結果では、「佐世保は水不足だと思わない」が64% 「新たにダムは必要だと思わない」が53%という回答が得られている。